



令和 7 年度転入学用
鎌倉市立由比ガ浜中学校（仮称）

転入学のてびき

はじめに	1
スクールビジョン	1
目指す学びの場のイメージ	2
由比ガ浜中学校の概要	3
対象となる児童生徒	4
スクールビジョンを実現するための5つの特色	5
カリキュラム・学校生活など	9
転入学の流れ	12
よくある質問	16
提出書類様式の記入例	20
問い合わせ・相談窓口	22

はじめに

由比ガ浜中学校は、不登校の子どもたちのための「学びの多様化学校」として令和7年4月に開校します。

学びたい気持ちがありながらも様々な要因で在籍校に通うことが難しく、自分らしさを発揮できなかったり、自分らしく学ぶ機会を持てなかったりする子どもたち、そのような子どもたちが新たな学びの場として「ここなら通いたい」「ここでなら自分らしく学べるかな」と希望を持って安心して通える学校を目指します。

スクールビジョン

自分らしく学び、自分らしく成長できる学校

子どもたちが自分らしさを大切にしながら安心して学ぶことができるように、ありのままを受け入れ寄り添いながら、**社会的自立**と**自己実現**に向けて「自分で考えて行動し、他の人と協力しながら、よりよく生きること」ができる力を育み、「自分のなりたい姿」へ成長していくことを支援していきます。

目指す学びの場のイメージ

「子どもが学校に合わせる」から

「学校が子どもに合わせる」へ

「大人が提供する学びの場」から

「自分たちでつくりあげていく学びの場」へ

「一斉に学ぶ」から

「自分のペースで学ぶ」へ

「教科ごとに学ぶ」から

「教科の枠を超えて体験的・探究的に学ぶ」へ

「先生に教えてもらう」から

「自分たちで学びとっていく」へ

「知識の習得」から

「学び方を学ぶ」へ

「同一学年・クラス」から

「異学年・少人数・個別など多様なスタイルで学ぶ」へ

「学校内だけで学ぶ」から

「海や森、まちなど鎌倉全体で、様々な人々と関わりながら学ぶ」へ

由比ガ浜中学校の概要

- ・ 文部科学省が指定する「学びの多様化学校（不登校特例校）」 * 申請中

「学びの多様化学校」とは、文部科学大臣の指定のもと、学校に行けない生徒の状況に配慮し、特別な教育課程を実施することができる学校です。

- ・ 一般の中学校より授業時数を減らし、自分のペースで学べる柔軟な教育課程を編成
- ・ 各教科の教員や養護教諭のほか、スクールカウンセラー等を配置
- ・ 令和7年4月開校
- ・ 鎌倉市立御成中学校の分校として設置
- ・ 江ノ電由比ヶ浜駅付近に新たに校舎を建設
- ・ 定員は30名（各学年10名）程度
- ・ 他の市立中学校と同様にデリバリー式給食を提供
- ・ 学区は市内全域



建設予定地



対象となる児童生徒

次の①～③のすべてに該当する児童生徒のうち、教育委員会が認めた児童生徒

- ① 鎌倉市内に在住している児童生徒
- ② 不登校状態または不登校傾向にある児童生徒
- ③ 由比ガ浜中学校で学びたいという思いのある児童生徒

- ・「不登校状態」とは、文部科学省の定義する「病気や経済的な理由を除き、年間 30 日以上の欠席」を目安とし、教育支援教室ひだまりやフリースクール等へ通室している場合も含みます。また、「不登校傾向」とは、別室登校や登校しぶり等を指します。
- ・少人数を活かしたていねいな支援を行いますが、通常の学級であり、特別支援学級や通級指導教室とは性質が異なります。

スクールビジョンを実現するための5つの特色

1 生徒の安心を育む充実した体制

- ・定員 30 名に対し、約 10 名のスタッフ（教員・スクールカウンセラー等）が支援にあたります。少人数を活かし、生徒一人ひとりへのていねいな支援を行います。
- ・生徒のありのままを受け入れ、生徒が安心して自分らしさを発揮しながら学べる学校づくりを進めます。
- ・心理の専門家（スクールカウンセラー）が生徒と日常的にコミュニケーションを取ることで、いつでも相談できる環境を整えます。

2 自分のペースで学べる柔軟な教育課程

- ・年間授業時数（既存の中学校は 1015 時間）を 770 時間に削減します。（予定）
- ・朝の時間のゆとりや、他の学校と時間をずらす等の配慮から、登校時間を遅めに設定します。
- ・普通教室の他にも個別で学習できるスペースや協働で学習できるスペース等、様々なスタイルに対応する多様な学習スペースがあります。
- ・毎日の登校が基本となりますが、生徒の状況に合わせて登校ペースも相談しながら決定していきます。

3 「個別最適な学び」と「協働的な学び」

- ・生徒自身の学びたい気持ちを大切にし、「学習者中心の学び」を実施します。
- ・「少人数」や「チーム・ティーチング」による教育活動を原則とし、基礎・基本の習得のために一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を充実させます。
- ・自分の興味関心に基づいて、自分に合った方法で、自分なりの目標に向かって学習できるようにします。
- ・生徒同士の関わり合いや学び合い、地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながらの学びを大切にします。
- ・「国語」「数学」「英語」の3教科について自身の学習状況に応じて学習計画を立て、主に ICT 機器を活用しながら学習に取り組む授業として毎日 20 分間の「^{イーエル}EL」(^{イーラーニング}e-learning)の時間があります。AI ドリルや説明動画等のデジタル教材を使用しながら、学校に登校できなかった期間の学習内容についての「学び直し」に取り組んだり、発展学習に取り組んだりします。
- ・「音楽」「美術」「技術・家庭」の3教科は新教科「^{シータイム}CTime」の中で基礎・基本を学びます。さらに自分の興味関心に合わせて「音楽」「美術」「技術・家庭」から生徒が学びたい教科を選択し、学びをデザインしながら深く学びます。「^{シータイム}CTime」の名称は「^{クリエイト}Create 自身の創造性を磨く時間」「^{コラボレート}Collaborate 興味関心が合う仲間と協働的に学ぶ時間」「^{チューズ}Choose 生徒自身が自分の学びを選択し、自己調整する時間」を意味します。

4 「^{ウルトラ}かまくら ULTLA プログラム」の要素を取り入れた新教科「^{ウルトラ}ULTLA」

- ・総合的な学習の時間を「*かまくら ULTLA プログラム」の要素を取り入れた新教科「ULTLA」として再設定し、授業時数を 140 時間（予定）に増やします。（既存の中学校の総合的な学習の時間の時数は、1 年 50 時間、2 年 70 時間、3 年 70 時間）
- ・興味関心領域や思考スタイル、認知特性等を把握するためのアセスメントの実施とていねいなフィードバックで、自身を肯定的に捉えなおす機会をつくります。
- ・自分の興味関心に基づいて、自分に合った方法で、探究的に学びます。
- ・鎌倉の豊富な教育資源（人・自然・文化）を最大限活用し、体験的に学びます。
- ・地域とつながり、多くの大人や仲間と関わりながら学びます。
- ・教科横断的に学ぶことで、授業時数を削減した教科の内容を補完します。

*「かまくら ULTLA プログラム」とは

森、お寺、海などの鎌倉の地域特性を生かしたプログラムの中で、参加者一人ひとりが個性や特性に応じて自分らしく学んでいく方法を見つけていくことを目的とした探究プログラムです。

小学校 4 年生から中学校 3 年生で、学校における学習になじめず、不登校あるいは休みがちとなっているなど、学校に通うのがつらいと感じている児童生徒を参加対象に令和 3 年度から実施しています。

ULTLA=Uniqueness Liberation Through Learning optimization and Assessment（学びの最適化と評価による個性の解放）の略。

かまくら ULTLA プログラム
ホームページ



5 保護者へのサポート

- ・教員やスクールカウンセラーが定期的に面談を行い、保護者の皆さんに寄り添い連携することで、お子さんを共に支える体制をつくれます。
- ・定期的に懇談会等を実施し、保護者の皆さん同士で安心して話ができる場をつくれます。
- ・保護者の皆さんを対象に、お子さんの理解や関わり方についての専門職による講座等を実施します。

カリキュラム・学校生活など



授業時数（予定）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	外国語	道徳	特活	総合	ULTLA	CTime	合計
由比ガ浜中学校	88	53	105	52	0	0	70	0	87	35	35	0	140	105	770
（参考）標準 1 年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50			1015
（参考）標準 2 年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70			1015
（参考）標準 3 年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70			1015



時間割（イメージ）

	始	終	月	火	水	木	金
朝のHR	9:30	9:40	朝のホームルーム（10分間）				
EL	9:40	10:00	EL	EL	EL	EL	EL
1	10:10	11:00	数学	保健体育	社会	外国語	理科
2	11:10	12:00	国語	外国語	国語	数学	理科/社会
昼食・昼休み	12:00	13:00	昼食・昼休み（60分間）				
3	13:00	13:50	保健体育	ULTLA	道徳	ULTLA	学活
4	14:00	14:50	CTime	ULTLA	CTime	ULTLA	CTime
帰りのHR	14:50	15:05	帰りのホームルーム・チャット・清掃（15分間）				



縦割りのホームグループ

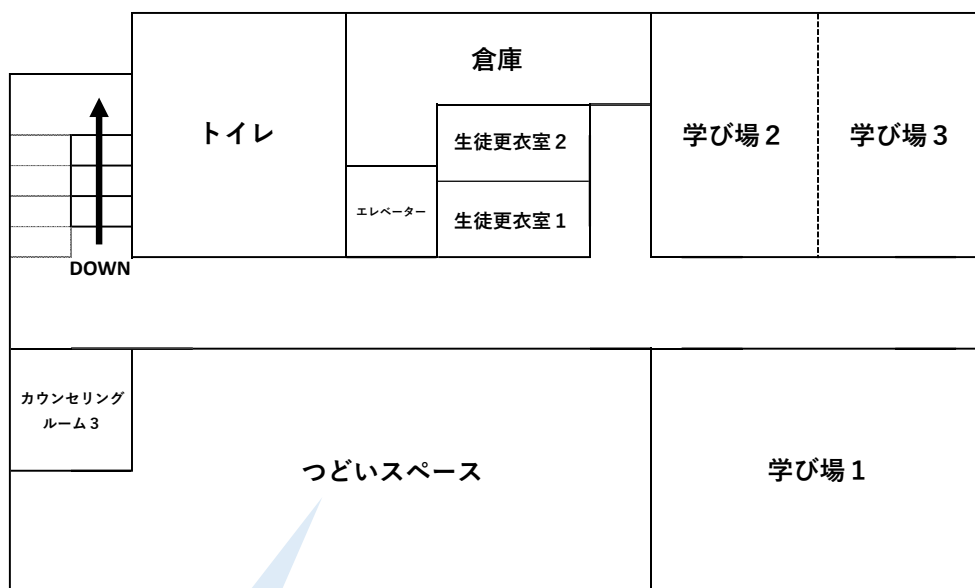
全校生徒を 10 名程度ずつの異学年の「ホームグループ」に分けます。朝のホームルームや帰りのホームルーム、学活の授業など、学校生活の様々な場面をホームグループで過ごすことで、学年ごとの横のつながりとともに学年を超えた縦のつながりも深め、社会性や協調性を育みます。各ホームグループには複数の担当スタッフがつき、生徒や家庭との連絡・相談の窓口となります。



校舎レイアウト（仮）

* 部屋名はすべて仮称です

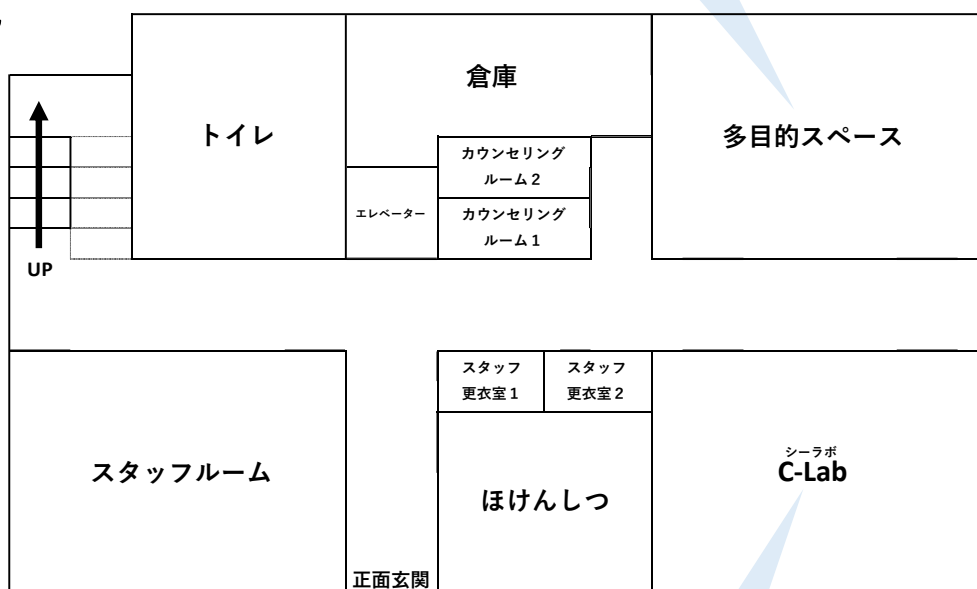
2 階



「つどいスペース（仮称）」は、「安心して過ごせるリビングスペース」と「いろいろな学び方に対応する学習スペース」の役割を果たします。個別学習スペースや、グループ学習スペース、ソファでくつろげるスペース、図書コーナーなど様々な「居場所」があります。

「多目的スペース（仮称）」は、軽い運動をしたり、式や集会で集まったりと「ミニ体育館」として利用します。

1 階



「C-Lab（仮称）」は、「音楽室」「美術室」「家庭科室」「技術室」「理科室」等のように、いろいろな教科の実習に利用します。



1日の流れ（イメージ）

～ 9:30 登校

登校したら上ばきにはき替え、「つどいスペース（仮称）」へ行きます。つどいスペースには「ソファでくつろげるスペース」「個別学習スペース」「図書コーナー」など様々な居場所があり、自分の好きな場所で朝のホームルームまでの時間を過ごします。また、今日の「こころとからだの状態」を見つめ iPad に入力します。

9:30 朝のホームルーム

朝のホームルームは全員でつどいスペースで行います。「1日の予定の確認」等のあと、ホームグループごとに「健康観察」「貴重品の回収」「担当スタッフからのメッセージ」等で1日をスタートします。

9:40 EL（20分授業）

最初の授業はELです。ELの時間は、iPadを使った個別学習が中心になりますので、自分のペースで1日の学習を始めることができます。

10:10 1校時～2校時（50分授業）

授業は「習熟度別」「学年別」「異学年」「個別」「全員」など多様なスタイルで行うことを予定しています。

12:00 昼食・昼休み

昼食は、デリバリー式給食です。（持参したお弁当も可）つどいスペースや教室、天気の良い日は外の芝生など好きな場所で楽しく食べましょう。昼食後は多目的スペースで軽い運動をしたり、つどいスペースで友だちやスタッフとおしゃべりしたり、読書したりとリラックスして過ごします。

13:00 3校時～4校時（50分授業）

午後は主に「ULTLA」や「CTime」の授業です。地域の方など色々な人たちと関わりながら教科の枠を超えて探究的に学んだり、自分の興味関心に合わせて自分なりの目標をもって深く学んだりします。

14:50 帰りのホームルーム・チャット・清掃

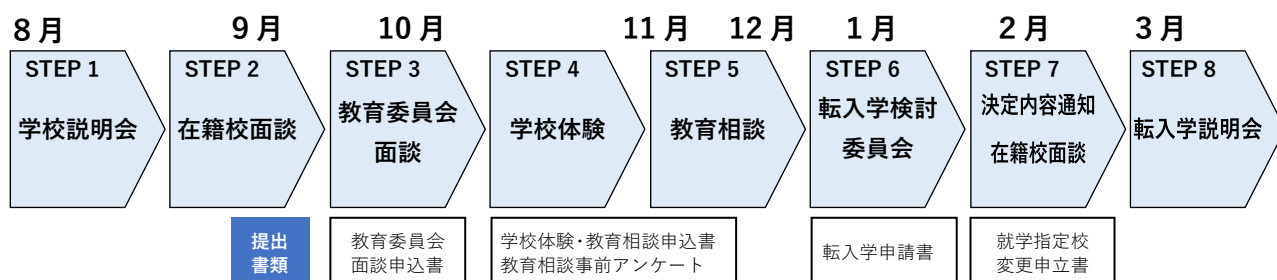
ホームグループごとの帰りのホームルームでは「次の日の予定の確認」「貴重品返却」等を行います。その後、それぞれ担当スタッフとチャット（簡単な面談）を行い1日を振り返ります。

15:05 下校

下校時刻後もつどいスペース等で学習したり、スタッフとおしゃべりしたりして過ごすことが可能です。最終下校は16:00です。

転入学の流れ

由比ガ浜中学校への転入学が本人にとって最適な選択肢であるかを慎重に判断するため、次のプロセスで転入学者を決定します。



* 「面談」「学校体験」「教育相談」「転入学説明会」に参加した日は在籍校の出席扱いになります。

STEP 1 学校説明会

由比ガ浜中学校の概要や転入学等についての説明会です。由比ガ浜中学校への転入学を希望・検討される方は必ず参加してください。

- 【日 時】 令和6年8月18日（日）14:00 開始 受付 13:30～ （1時間程度）
令和6年8月19日（月）17:00 開始 受付 16:30～ （1時間程度）
* 2日間とも同じ内容です。転入学を希望・検討される方は必ずどちらかへの参加をお願いします。
- 【場 所】 鎌倉市立御成小学校（鎌倉市御成町 19-1）
- 【内 容】 学校概要/転入学の流れ/質疑応答 等
- 【その他】 保護者とお子さん共にご参加ください。

STEP 2 在籍校面談

在籍校と面談を行い、由比ガ浜中学校への転入学に向けての意思の確認・相談等を行います。

- 【実施時期】 令和6年8月下旬～9月10日（火）
- 【申し込み】 保護者から学校へ9月3日（火）までにお電話にてお申し込みください。
- 【そ の 他】 ・面談は保護者とお子さん共にご参加ください。
・鎌倉市立小中学校以外に在籍している方は、8月28日（水）まで（在籍校に面談を申し込む前）に鎌倉市教育委員会多様な学びの場づくり担当までご連絡ください。（TEL0467-61-3826）

STEP 3 教育委員会面談

教育委員会の指導主事と面談を行い、由比ガ浜中学校への転入学に向けての意思の確認・相談等を行います。

【実施時期】 令和6年9月下旬～10月上旬

【申し込み】 ①「教育委員会面談申込書（P21）」を在籍校を通じて教育委員会に提出してください。***在籍校提出締め切り9月10日（火）**

②教育委員会から在籍校を通じて、実施日時・場所等をご連絡いたします。

【その他】 面談は保護者とお子さん共にご参加ください。

STEP 4 学校体験

由比ガ浜中学校の授業や学校生活の雰囲気を知るための学校体験に参加します。

【日時】 令和6年10月28日（月）14:00～16:00 （受付13:40～）

令和6年10月30日（水）10:00～12:00 （受付9:40～）

***2日間とも参加してください。**

【場所】 鎌倉水道営業所2階（鎌倉市御成町12-18） ***鎌倉駅西口から徒歩2分**

【持ち物】 筆記用具

【服装】 自由

【申し込み】 「学校体験・教育相談申込書(P22)」 「教育相談事前アンケート(P23)」を在籍校に提出してください。

***在籍校提出締め切り10月18日（金）**

【その他】 保護者の方は体験の様子を見学することはできませんが、会場までの付き添いは可能です。（小学6年生は原則付き添いをお願いします。）



鎌倉水道営業所
所在地

STEP 5 教育相談

お子さんにとって最適な学びの場を検討するための教育相談として、教育相談員や教育委員会の指導主事との面談を実施します。

【実施時期】 令和6年11月上旬～12月上旬

【申し込み】 「STEP4 学校体験」の申し込みと合わせて申し込んでいただくので、改めて申し込む必要はありません。教育委員会から在籍校を通じて、実施日時・場所等をご連絡いたします。

【その他】 ・面談は保護者とお子さん共にご参加ください。
・面談者は教育相談員及び教育委員会の指導主事です。

STEP 6 転入学検討委員会

転入学検討委員会において、由比ガ浜中学校がお子さんにとって最適な学びの場であるかを検討します。

【申し込み】 教育相談後、転入学を希望する場合は「転入学申請書(P24)」を在籍校に提出してください。

***在籍校提出締め切り 12月20日（金）**

【実施時期】 令和7年1月上旬

【その他】 ・転入学検討委員会の委員は教育委員会職員及び学校教職員の代表です。
・「転入学申請書」を提出したお子さんにとって、由比ガ浜中学校が最適な学びの場であるかを転入学検討委員会で検討します。**保護者やお子さんは転入学検討委員会には参加しません。**

STEP 7 決定内容のお知らせ・在籍校面談

教育委員会は、転入学検討委員会の検討結果を参考に転入学児童生徒を決定し、保護者にお知らせします。

【通知方法】 教育委員会から保護者あてに「決定内容通知書」を郵送します。
また、教育委員会から在籍校にも通知します。

【通知時期】 令和7年1月下旬～2月上旬

【その他】 このお知らせより前に学区の中学校の入学説明会が開催される場合は、必ず学区の中学校の入学説明会に参加してください。（小学6年生の場合）

■ 転入学が認められた場合

- ①教育委員会から保護者あてに「決定内容通知書」とともに「転入学説明会の案内」「就学指定校変更申立書」を送付します。
- ②「就学指定校変更申立書（P25）」を2月21日（金）までに**教育委員会学務課学務担当へ提出**してください。郵送でも持参でも結構です。**この提出をもって、最終的な意思確認となります。**提出がない場合、転入学手続きが完了しません。
- ③在籍校と面談等を実施し、転入学に向けた今後の支援等について確認します。保護者から在籍校へ連絡して面談を申し込んでください。
- ④「STEP8 転入学説明会」に参加してください。

■ 転入学が認められなかった場合

在籍校と面談等を実施し、今後の支援や進学先について相談します。保護者から在籍校へ連絡して面談を申し込んでください。また、教育委員会でもご相談いただけます。希望される方は教育センター相談室までご連絡ください。（P26 参照）

STEP 8 転入学説明会



転入学が決定した児童生徒・保護者対象の転入学説明会に参加します。

【日 時】 令和7年3月7日（金）15:00～

【場 所】 未定

【その他】 ・保護者とお子さん共にご参加ください。
・詳細については「STEP7 決定内容のお知らせ」とともにお知らせします。

よくある質問

Q

「教育支援教室ひだまり」との違いは何ですか？

A

どちらも「社会的自立に向けた支援を行う」という点や、在籍校に登校しづらい子どもたちにとっての「学びの場」と「居場所」の役割を担うという点では共通ですが、**ひだまりは在籍校に籍を置いたまま通室**するのに対し、**由比ガ浜中学校は転入学する**という点が大きな違いとなります。また由比ガ浜中学校は毎日の登校が基本（生徒の状況に合わせて相談しながら決定）となりますが、ひだまりでは支援計画に基づいた個々のペースで通室します。由比ガ浜中学校では独自の教育課程のもと全教科を学習しますが、ひだまりでは在籍校との連携を大切にしながら個別学習や小集団による活動を行います。

Q

定員いっぱいの時、2・3年生の募集は行いますか？

A

定員を満たしている状況でも、毎年度「若干名」の募集は行う予定です。

Q

年度途中の転入は認められますか？

A

由比ガ浜中学校への転入学は、本人にとってそれが最適な選択肢であるかを慎重に判断する必要があるため「学校体験」「教育相談」等のていねいなプロセスを経ています。年度途中の転入学では、そのプロセスを経ることができないため認めないことにしています。

Q

由比ガ浜中学校で学ぶことでエネルギーがたまり、元の学校へ戻りたい！となった場合はどうなりますか？

A

原則として「卒業まで由比ガ浜中学校で学ぶ」ことを前提に転入学することになります。もし、由比ガ浜中学校からの転出を希望する場合は、転出することが本人にとって最適かをていねいに相談し、最終的には本人・保護者の意思を尊重することになります。

Q

市外に住んでいますが由比ガ浜中学校に転入学することはできますか？

A

由比ガ浜中学校は鎌倉市に在住する子どもたちのための学校なので市外在住のまま転入学して通うことはできません。

Q

来年4月に鎌倉市に転入予定ですが、転入学することはできますか？

A

転入学年度の4月に鎌倉市に転入予定の場合、転入学のプロセスを経た児童生徒のみ対象となります。ただし定員をオーバーしている状況では鎌倉市在住の児童生徒を優先する場合があります。

Q

希望者が定員を超えた場合、どのような基準で転入学する子を決めますか？

A

「前向きに頑張りたいという姿勢」「学ぶ意欲」「毎日通う意欲」「欠席の状況」「**常時支援の必要性**」という観点から総合的に判断します。定員を超えている場合は、不登校の状況が長期化している児童生徒や由比ガ浜中学校に登校して学ぶ意思が強い児童生徒を優先します。

Q

転入学が認められなかった場合はどうなりますか？

A

転入学が認められなかった場合は、在籍校と今後の支援や進学先について相談します。また、教育センター相談室でも相談することができます。学区の中学校における支援（校内フリースペース等）や教育支援教室ひだまり、フリースクール等、本人にとって何が最適かを一緒に考えていきます。

Q どんな先生がいるのですか？

- A 教職員の配置については未定ですが、次のようになる見込みです。
- ・ 分校長（仮称）＊由比ガ浜中学校の管理責任者になります
 - ・ 各教科の教員（7～9名程度）
 - ・ 養護教諭
 - ・ スクールカウンセラー
 - ・ 事務職員
 - ・ 学校技能員
 - ・ スクールサポートスタッフ 等
- ＊校長は、本校の御成中学校長が兼務となります。

Q 授業はどんなふうに行いますか？

- A 子どもたちの学習状況や心の状態、教科の目標等に応じて、「習熟度別」「学年別」「異学年」「個別」「全員」など多様なスタイルで授業を行うことを予定しています。

Q 削減された授業数分の学習はどうなりますか？

- A 他の中学校より授業時数は削減されていますが、学習指導要領に定められた各教科の目標を達成できるように、教科横断的な学びや個別最適な学びを充実させる等の工夫をしていきます。（P6・7参照）

Q 成績はどうなりますか？

- A 独自の教育課程に基づいて9教科の評価・評定を行います。

Q 卒業後の進路はどうなりますか？

A 公立・私立の高等学校（全日制・定時制・通信制）、専修・専門学校、サポート校など、本人にあった次のステップに向けて寄り添いながら支援していきます。

Q 行事や部活動はどうなりますか？

A 行事や部活動については、現段階では「白紙」です。「自分たちでつくりあげていく学びの場」を目指しているので、行事や部活動をどうするかは令和7年4月以降に子どもたちとともに決めていくことになります。

Q 標準服（制服）はありますか？

A 標準服（制服）はありません。私服で登校可能です。

Q 特別な費用は必要になりますか？

A 公立の学校なので授業料は必要ありません。他の中学校と同様に、教材費や校外活動費等は負担していただくことになります。また、通学のための交通費がかかります。（通学定期券を購入することができます。）

Q 家が遠いのですが、自転車で登校することはできますか？

A 安全上の理由で自転車通学は許可していません。「徒歩」または「公共交通機関」を利用して通学します。「江ノ電由比ヶ浜駅」「長谷東町バス停」どちらからでも歩いて2分程度です。また、保護者の車での送迎も可能です。

提出書類様式の記入例

	様式名	提出締め切り	提出先
①	教育委員会面談申込書	9月10日（火）	在籍校
②	学校体験・教育相談申込書	10月18日（金）	在籍校
③	教育相談事前アンケート	10月18日（金）	在籍校
④	【第1号様式（第4条関係）】 鎌倉市立御成中学校分校 転入学申請書	12月20日（金）	在籍校
⑤	【第4号様式（第7条）】 就学指定校変更申立書 用紙は転入学が認められたご家庭に 教育委員会から送付されます	2月21日（金）	鎌倉市教育委員会 学務課学務担当 (鎌倉市御成町 18-10)

*①～④の様式は鎌倉市ホームページからダウンロードしたものを使用してデジタルで作成することも可能です。

【ダウンロード先】



ホーム>教育・文化・スポーツ>教育

鎌倉市 HP 「多様な学びの場づくりについて」



記入例

鎌倉市教育委員会
多様な学びの場づくり担当宛

申込日 令和●年 9月 ●日

教育委員会面談申込書

「個人情報の取り扱い」について同意し、次のとおり教育委員会面談を申し込みます。

お子さんの情報	ふりかな	かまくら ゆい	性別	女
	お子さんの氏名	鎌倉 由比		
	在籍校	鎌倉市立●●小学校	学年	6年
保護者の情報	保護者氏名	鎌倉 浜子		
	現住所	鎌倉市山ノ内●—●		
	電話番号	090-1234-5678		
	メールアドレス	kamakura1192@●●●.com		
相談したいことがありましたらお書きください				
ご確認ください				

個人情報の取り扱いについて

鎌倉市教育委員会は、鎌倉市立由比ガ浜中学校（仮称）の転入学プロセスにおいて、転入学の必要性、転入学後の指導内容及び相応しい支援方策等について検討するため、鎌倉市教育委員会の関係課、在籍校及び鎌倉市立御成中学校分校転入学検討委員会と児童生徒に関する情報共有を行います。

在籍校へ9月10日までに提出してください

記入例

鎌倉市教育委員会
多様な学びの場づくり担当宛

申込日 令和●年 10 月 ●日

学校体験・教育相談申込書

次のとおり学校体験及び教育相談を申し込みます。

ふりがな	かまくら ゆい	性別	女
お子さんの氏名	鎌倉 由比		
在籍校	鎌倉市立●●小学校	学年	6 年
保護者氏名	鎌倉 浜子		

在籍校へ「教育相談事前アンケート」と一緒に提出してください
【10 月 18 日まで】

記入例

鎌倉市立由比ガ浜中学校（仮称）転入学用様式④

第1号様式（第4条関係）

令和●年 ●月●日

（宛先）鎌倉市教育委員会

住所 鎌倉市山ノ内●—●

氏名
(保護者) 鎌倉 浜子

電話番号 090-1234-5678

鎌倉市立御成中学校分校転入学申請書

鎌倉市立御成中学校分校への転入学を希望するため、次のとおり申請します。

生徒（児童）氏名	ふりがな かまくら ゆい
	鎌倉 由比
生 年 月 日	平成23年 ●月 ●日
住 所	〒247-0062 鎌倉市山ノ内●—●
電 話 番 号	090-1234-5678
在 籍 校 及 び 学 年	鎌倉市立●●小学校 6年

就学指定校変更申立書

		令和●年 2月 ●日
(宛先) 鎌倉市教育委員会		
申立人 鎌倉 浜子 (保護者)		
次のとおり、就学指定校の変更を申立します。		
児童生徒等氏名	ふりがな かまくら ゆい 鎌倉 由比	平成●年 5月 8日生 保護者との続柄 (子)
住 所	(〒 247-0062) 鎌倉市山ノ内●—●	「決定内容通知書」に記載の「転入学年月日」
保護者氏名 及 び 電 話	鎌倉 浜子	電話 090 (1234) 5678
指 定 を 受 け た 学 校 名	指 定 を 希 望 す る 学 校 名	
鎌倉市立 ●● 小 学校 第 1 学年	鎌倉市立 由比ガ浜 小 学校 第 1 学年	
就学希望期間	令和7年 4月 1日から	令和10年 3月 31日まで
前住所地又は 転居予定地	転居しない場合は記入の必要なし	
前在籍校名		
理 由	卒業年度の3月31日	
☐ 学期・学年途中のため	☐ 最終学年のため	
☒ その他（詳しく記入してください。）	1年生→「入学」2・3年生→「転入」	
鎌倉市立由比ガ浜中学校へ入学するため		
チェックを忘れない(同意していただく必要があります)		
同 意 事 項	指定校変更の申立に際し、次の事項に同意します（チェックを入れてください）。	
☒ 1	子どもの通学時の安全及び災害発生時等の送迎については、保護者が責任を持ちます。	
☒ 2	上記1を保つことができない場合に、指定校変更の許可期間が短縮されることがあることを承諾します。	
☒ 3	期間終了後は必ず転校手続を行います。	
保護者署名（必須）		鎌倉 浜子
通 学 方 法		
☐ 徒歩のみ（約 分）	☐ その他（ 分）	
☒ バス・電車・モノレールを利用（計約 30 分）	通学証明書 要 ・ 不要	
(経路)		
自 宅	(徒歩)	(電車)
	北鎌倉駅	鎌倉駅
	(電車)	由比ヶ浜駅
		学 校

問い合わせ・相談窓口

■ 由比ガ浜中学校についての問い合わせ・相談

窓口

鎌倉市教育委員会多様な学びの場づくり担当



0467-61-3826（平日 9:00～17:00）



tayou@city.kamakura.kanagawa.jp



ホーム ホームページ > 教育・文化・スポーツ > 教育
鎌倉市 HP 「多様な学びの場づくりについて」



■ 学校生活（登校しぶり・不登校等）についての相談

窓口

鎌倉市教育センター相談室



0467-24-3386（平日 9:00～17:00）



ホーム ホームページ > 教育・文化・スポーツ > 教育 > 教育相談
鎌倉市 HP 「教育センター相談室の紹介」





鎌倉市立由比ガ浜中学校

令和 6 年 8 月
鎌倉市教育委員会
多様な学びの場づくり担当